

一般社団法人日本数式処理学会 2024年度定時社員総会議事録

総 17002 号

一般社団法人日本数式処理学会会長濱田龍義は理事会の決議に基づき 2024 年度定時社員総会の召集を定款 35 条第 1 項により公示した。

また、この社員総会は、一般社団法人法第 49 条第 2 項の規程を適用し社員は書面によって議決権を行使することができることとする。

開催日時	2024 年 6 月 29 日 10 時 00 分 ~10 時 30 分
開催場所	神奈川県横浜市
総社員 (代表会員) 数	23 名
総会定足数	12 名
出席社員数	22 名
議場出席社員数	1 名
議場出席社員	濱田龍義
オンライン出席数社員数	14 名
オンライン出席社員	大墨礼子, 大橋真也, 小原功任, 甲斐博, 讃岐勝, 関川浩 中川重和, 中山洋将, 鍋島克輔, 野呂正行, 深作亮也 藤本光史, 藤村雅代, 横山俊一
書面評決社員数	7 名
書面評決社員	石原侑樹, 木村欣司, 近藤祐史, 篠原直行, 照井章 長坂耕作, 中村泰之
出席理事数	6 名
出席理事	関川浩, 濱田龍義, 藤村雅代, 大墨礼子, 鍋島克輔 小原功任
出席監事数	2 名
出席監事	中川重和, 野呂正行
議長	濱田龍義
議事録作成者	理事 大墨礼子

議長の選出

一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 37 条により 2024 年度定時社員総会議長に就任した。

定足数の確認

総会開催に必要な社員(代表会員)の定足数は、定款 38 条に定められた代表会員数 23 名の過半数 12 名であり、本会議の有効出席代表会員数は 22 名で定足数を満たしている事を確認した。

書記の選任

一般社団法人法第 58 条第 1 項, 第 59 条及び同法施行規則第 11 条第 4 項に基づき, 議事録を作成する者の選任をと諮ったところ満場一致で理事大墨礼子が選任された。

開会の宣言

一般社団法人日本数式処理学会 会長 濱田龍義は、定款 38 条により 2024 年度定時社員総会議長となり 10 時 00 分総会の開会を宣言した。

目 次

第 1 号議案 選挙管理委員会報告.....	3
第 2 号議案 第 17 期理事選任数並びに選任方法.....	5
第 3 号議案 第 17 期理事選任.....	6
第 4 号議案 第 17 期監事選任.....	6
第 5 号議案 2023 年度事業報告.....	6
第 6 号議案 2023 年度会計報告.....	11
第 7 号議案 2024 年度事業計画.....	12
第 8 号議案 2024 年度予算案.....	13
第 9 号議案 名誉会員推挙.....	14

第1号議案 選挙管理委員会報告

中山洋将選挙管理委員長

1.1 選挙公告

代表会員選挙管理委員会

選挙管理委員会は、2023年12月25日に代表会員選挙公告(代表会員選挙管理委員会1601号)を決定した。公告方法は、学会webページおよび会員へのダイレクトメールによって行うこととした。

一般社団法人日本数式処理学会代表会員選挙公告

選挙1601号

代表会員選挙管理委員会は、日本数式処理学会代表会員選出規定にもとづき、第17期日本数式処理学会代表会員を選出する選挙について、下記の事項を告示いたします。

立候補届出期間	2024年2月1日から2024年2月7日(必着)
立候補届出場所	election@jssac.orgへのメールで選挙管理委員長宛に提出
立候補必要書類	1. 氏名, 住所, 連絡先, 電話番号, メールアドレスを記載したもの 2. 推薦人名簿もしくは推薦人免除書
投票用紙の配布	2024年2月8日から2024年2月14日の間
投票開始日	2024年2月15日
投票締切日	2024年2月26日(当日消印有効)
投票形式	選挙管理委員会交付の葉書による5名連記の投票用紙に記載する
開票日	2024年3月4日
当選の確定日	2024年3月4日
第17期代表会員の任期	2024年4月1日~2026年3月31日
第17期代表会員の定数	27名

以上により第17期代表会員の立候補を受け付けます。

代表会員選挙規定については、下記をご覧ください。

<http://www.jssac.org/General/Law/Election/index.html>

2023年12月27日

一般社団法人日本数式処理学会

代表会員選挙管理委員会 委員長 中山洋将

1.2 立候補者

代表会員選挙管理委員会

立候補の締切の後、選挙管理委員会は次のような決定をおこなった。

第 17 期一般社団法人日本数式処理学会代表会員選挙公示

選挙 1602 号

2024 年 2 月 8 日 0 時, 第 17 期日本数式処理学会代表会員選挙管理委員会は立候補受付を終了した。立候補者は次のとおりである。

1. 立候補者名

氏名	所属	特記事項
濱田 龍義	日本大学	
大墨 礼子	関東学院大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
横山 俊一	東京都立大学	
藤村 雅代	防衛大学校	選挙規定第 11 条 2 項の 2
照井 章	筑波大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
関川 浩	東京理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
甲斐 博	愛媛大学	
大橋 真也	順天堂大学	
木村 欣司	福井大学	
鍋島 克輔	東京理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
長坂 耕作	神戸大学	
小原 功任	金沢大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
藤本 光史	福岡教育大学	
深作 亮也	九州大学	
石原 侑樹	東京理科大学	
中村 泰之	名古屋大学	
近藤 祐史	香川高等専門学校	
中川 重和	岡山理科大学	選挙規定第 11 条 2 項の 2
讃岐 勝	筑波大学	
工藤 桃成	福岡工業大学	
中山 洋将	東海大学	
篠原 直行	情報通信研究機構	
野呂 正行	立教大学	選挙規程第 11 条 2 項の 2

立候補届け出順。

2. 以上, 23 名の立候補者で確定いたしました。
3. 立候補者数が代表会員の定数 27 を超えておりませんので, 選挙は投票を実施致しません (日本数式処理学会代表会員選出規定第 16 条)。
4. 立候補者全員の当選が確定いたしました。

2024年2月8日
一般社団法人日本数式処理学会
代表会員選挙管理委員会 委員長 中山洋将

注

日本数式処理学会代表会員選出規定

第10条 [立候補の届出]

代表会員立候補者は次の各号に該当するものとする。

1. 立候補者本人より立候補の届出があった会員。
2. 他の会員より推薦があり本人の同意のある会員。
3. 会長が推薦した会員。

第11条 [立候補の届け出書面]

第10条1項もしくは2項によって会員が代表会員選出選挙に立候補するためには、次の書面を選挙管理委員会へ提出する必要がある。

1. 選挙管理委員会が定める立候補の意思を確認する書面
2. 選挙管理委員会が定める書式の次のいずれかの書面
 1. 推薦人名簿
 2. 会長の推薦人免除書

但し第10条第3項による立候補は、通知が選挙管理委員会になされた時点で立候補したものとす。

第16条 [選挙の不実施]

立候補者数が代表会員の定数を越えない場合は、立候補者を当選人とし選挙は行わない。
本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第2号議案 第17期理事選任数並びに選任方法

濱田龍義 代表会員

定款第22条第1項により理事の定数は5名以上15名以内と定められております。今期は理事を7名としその選任方法は前回と同様とするよう提案します。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第3号議案 第17期理事選任

濱田龍義 代表会員

第17期理事として、濱田龍義、鍋島克輔、藤村雅代、大墨礼子、小原功任、照井章、中山洋将を推薦する。なお、被推薦者は推薦を同意している。

3.1 理事推薦の趣旨

推薦する7名は、これまで様々な面から学会運営に尽力しています。今後も学会の発展に必要と考え、理事に推薦いたします。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第4号議案 第17期監事選任

濱田龍義 代表会員

第17期監事として、関川浩、中川重和を推薦する。なお、被推薦者は推薦を同意している。

4.1 監事推薦の趣旨

推薦する2名は、学会において長年にわたり活動され、学会運営に貢献されています。学会全体に対し示唆をいただくために必要な方と考え、監事に推薦いたします。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第5号議案 2023年度事業報告

5.1 総括報告

濱田 龍義 会長

2023年度事業のうち、大会および教育分科会は対面形式で、合同分科会はオンラインで開催した。学会誌の出版においては、例年通り『数式処理』を発行した。

5.1.1 理事会議決

大墨礼子 理事

2023年度(2024年度社員総会開催まで)の理事会は、下記の定時理事会3回、臨時理事会10回である。正式な議事録は議決後に発行される学会誌『数式処理』に速やかに掲載している。また、議事録の全文は、決定の直後に学会のWebページの議事録の項に掲載している(但し、退会者の氏名は掲載せず会員番号のみの掲載である)。また、一般社団法人に移行した関係で電子的投票は全理事の賛成と監事の異議申し立てがないことが議決の要件になっている。定時理事会は3ヶ月に1回の割合で開催した。

理事会 16018 号

日本数式処理学会 2023 年度奨励賞.

理事会 16019 号

入会承認, 免除会員承認.

2023 年 9 月定時理事会 (理事会 16020 号)

第 34 回大会の開催地および実行委員長承認, SCSS2024 後援承認

理事会 16021 号

選挙管理委員会の設置承認, 選挙管理委員の選任.

2023 年 12 月定時理事会 (理事会 16022 号)

退会報告.

理事会 16023 号

入会承認.

理事会 16024 号

日本工学教育協会イベント協賛の承認.

2024 年 3 月定時理事会 (理事会 16025 号)

名誉会員推挙.

理事会 16026 号

日本工学教育協会イベント協賛の承認.

理事会 16027 号

「女子中高生夏の学校 2024」後援および協賛金による支援承認.

理事会 16028 号

入会承認.

理事会 16029 号

入会承認.

理事会 16030 号

決算承認および定時社員総会招集.

5.2 会員状況報告

大墨礼子 理事

2024 年 3 月 31 日現在の会員総数は, 344 名である. 会員種別内訳は下記のようになっている.

会員種別	2024年3月末	2023年3月末	2022年3月末	2021年3月末
正会員	265名	270名	273名	283名
学生会員	33名	34名	32名	34名
名誉会長	2名	2名	2名	2名
名誉会員	7名	7名	8名	8名
会費免除会員	35名	31名	29名	26名
賛助会員	2名	2名	3名	3名
総計	344名	346名	347名	356名

5.3 学術的会合

5.3.1 一般社団法人日本数式処理学会第32回大会

小原功任 大会プログラム委員長

第32回大会を、次の日時および場所で開催した。

日時	2023年6月9日(金) 14:30～6月11日(日) 12:00
場所	順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 7号館1階カンファレンスルーム (東京都文京区本郷2丁目1番1号)
参加者数	32名
内容	一般講演(12件, 内奨励賞対象講演2件), 名誉会員特別講演(2件)

残念ながら、奨励賞は推薦者無しであった。

5.3.2 分科会連絡委員会活動報告

藤本光史 分科会連絡委員会委員長

理論分科会, システム分科会, Mathematica分科会の3分科会による2023年度合同分科会を、次の日時および場所で開催した。

日時	2024年1月27日(土)
場所	Zoomによるオンライン開催
参加人数	22名
内容	一般セッション(4件), 特別セッション(2件)

5.3.3 教育分科会活動報告

長坂耕作 教育分科会運営委員長

第16期第2回ワークショップを次の日時及び場所で開催し、その内容に関する報告を数式処理に寄稿した。

日時	2023年8月29日(火)
場所	甲南大学 岡本キャンパス 西校舎13号館1階 マルチメディアプレゼンテーションルーム(MPR)
参加人数	18名
内容	3件のセッション(チュートリアルと記念講演などを含む質疑応答・議論)

第 16 期第 3 回ワークショップを次の日時及び場所で開催し、その内容に関する報告を数式処理に寄稿予定である。

日時 2024 年 2 月 11 日 (日/祝) 13:30~12 日 (月/休) 12:30
 場所 山口大学 吉田キャンパス 教育学部 教育実践総合センター 2 階
 参加人数 14 名
 内容 5 件のセッション (7 件の話題提供および質疑応答・議論, 企画講演含む)

5.4 数式処理編集委員会報告

照井章 数式処理編集委員長

2023 年度の学会誌『数式処理』の発行状況は、以下の通りである。

巻	号	発行日	ページ数	特集内容
Vol.29	No.2	2023 年 8 月	120 ページ	教育分科会報告
Vol.30	No.1	2024 年 1 月	118 ページ	第 32 回大会報告, 国際会議報告

これまで、学会誌の会員向け封入と発送を事務局で行っていたが、第 29 巻第 2 号より、封入と発送も印刷所 ((株) 平河工業社) に委託する形に改めた。

5.5 C.JSSAC 編集委員会報告

鍋島克輔 C.JSSAC 編集委員長

十分な数の論文が集まっていないため Vol.6 の発行には至っていない。

5.6 広報委員会報告

横山俊一 広報委員長

5.6.1 広報委員会概況

学会の情報発信・社会活動の一環として、学会ウェブページの運用を行っている。2023 年度は大きなシステム面での変更は行わなかったが、2020 年度よりウェブページにて公開している理事会議事録のアーカイブ形式を HTML から pdf 化し、現在もこの形式で運用を続けている。これにより、理事会終了から掲載までの作業をよりスムーズに行えるようになった。また、ウェブページの cvs 運用の変更、および複数サーバシステムの統合を検討している。例えば Google Workspace の導入や、オープンソースシステムの積極的な活用などが案として出ているが、セキュリティ面の問題や運用の難易度等の調査を並行して進める必要があるため、慎重に議論を継続していく予定である。

5.6.2 サーバの稼働状況

2015 年 11 月より VPS レンタルサーバにて運用している。2023 年度 (総会后) の各種委員会の運営用メーリングリストは以下の通りである。

ML 名	目的
congress16	代表会員の議論ならびに議決のため ※ ただし新代表会員リストとして congress17 をすでに開設済み。
director16	理事の議論ならびに理事会議決のため
executive16	常任委員会の議論ならびに運営のため

ML 名	目的
bulletin16	編集委員会の議論ならびに議決のため
cjssac16	C.JSSAC 編集委員会の議論ならびに議決のため
prog16	大会プログラム委員会の議論ならびに議決のため
pr16	広報委員会の議論ならびに議決のため
modulate16	分科会運営の議論ならびに議決のため
system16	システム分科会の議論ならびに運営のため
theory16	理論分科会の議論ならびに運営のため
education16	教育分科会の議論ならびに運営のため
journal	「数式処理」編集作業のため
tech	web ページ編集作業のため
sty	jssac.sty 編集のため

5.6.3 会員メーリングリスト

2020年2月よりメール専用レンタルサーバにて運用している.. ドメインは jssac.org のサブドメインを利用している. 2024年5月現在で登録者は66名である. 2023年度の投稿数は29通であった.

5.6.4 ドメイン名の維持・管理

毎年6月頃に更新. 2017年度よりサーバと同じ会社に管理を移管した

5.6.5 「女子中高生夏の学校」への広報活動

「2023 女子中高生夏の学校～科学・技術・人との出会い～」に参加し, 日本数式処理学会の活動の紹介などを行った.

日程	2023年8月5日(土)～8月7日(月)
場所:	国立女性教育会館
主催:	法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト (協力: 男女共同参画学協会連絡会)
後援:	文部科学省、内閣府男女共同参画局、他
参加者:	大橋 真也 (5,6日)、関川 浩 (6日)、 照井 章、藤村 雅代、岡 夏未 (TA 筑波大)(以上3名は全日程)

学生企画以外の学協会が参加するプログラムのすべてに手分けして参加した.

5.6.6 「男女共同参画学協会連絡会シンポジウム」への広報活動

第21回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにおいて, 以下の報告を行った.

- 日程： 2023年10月14日（土）10:00～16:30
 形式： 東京大学弥生講堂一条ホール・オンライン
 主催： 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会
 後援： 文部科学省、独立行政法人国立女性教育会館、
 一般社団法人国立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟、
 内閣府男女共同参画局、厚生労働省、経済産業省、
 国立研究開発法人科学技術振興機構、日本学術会議
 主な活動内容： 日本数式処理学会活動報告 2023
 (学会紹介、夏学での活動報告など)の提出

第6号議案 2023年度会計報告

大墨礼子 理事

6.1 収入の部

項目	予算	決算	摘要
前年度繰越金	1,877,028	1,877,028	
会費	1,300,000	986,000	
雑収入他	500	13	
合計	3,177,528	2,863,041	

6.2 支出の部

項目	細目	予算	決算	金額
大会費用		100,000	3,487	
分科会費用		290,000	0	
	理論分科会			0
	システム分科会			0
	教育分科会			0
	Mathematica分科会			0
数式処理発行費用		600,000	579,379	
	印刷・発送費 (Vol.29 No.2)			289,619
	印刷・発送費 (Vol.30 No.1)			289,760
広報費		41,000	26,938	
	VPS			10,890
	女子中高生夏の学校			15,000
	ML			1,048

項 目	細 目	予 算	決 算	金 額
雑 費 用		100,000	95,555	
	通信費			39,436
	会議費			2,309
	ドメイン登録料			2,493
	雑費			51,317
運 営 諸 経 費		420,000	10,000	
	税理士顧問料			0
	登記費用			10,000
事 務 局 費		100,000	61,296	
	レンタルオフィス家賃			61,296
租 税 公 課		70,000	70,000	
	法人都民税			70,000
小 計		1,721,000	846,655	
次 年 度 繰 越 金		1,456,528	2,016,386	
合 計		3,177,528	2,863,041	

6.2.1 監査報告

中川重和・野呂正行 監事

会計報告に対し、監事の中川重和・野呂正行より以下の監査報告があった。

2023 年度における一般社団法人日本数式処理学会の経理原票ならびに会計帳簿を精査した結果、会計処理が適正であることを一般社団法人日本数式処理学会 2024 年度定時社員総会に報告する。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第7号議案 2024 年度事業計画

濱田龍義 会長

7.1 事業計画概況

2024 年度事業計画は、学会の基本的活動である学会誌の出版と研究発表会の開催を中心に活動を行う。研究発表会については、感染症の蔓延等の状況に十分に注意を払いつつ柔軟な対応を行い、例年と同程度の活動を目指す。

7.2 定例事業計画

7.2.1 学術的会合

第33回大会 第33回大会を，次の日時および場所で開催する(理事会15024号)．

日時 2024年6月14日(金)～16日(日)
 場所 愛媛大学
 大会実行委員長 甲斐博

分科会研究会 2024年度は，年2回程度の開催を予定している

7.2.2 学会誌発行

『数式処理』発行予定数は次の2冊とする．

巻	号	発行日	特集内容
Vol.30	No.2	2024年7月発行予定	
Vol.31	No.1	2025年1月発行予定	

7.2.3 論文誌発行

『Communications of the Japan Society for Symbolic and Algebraic Computation』の発行予定数は，Vol.6の1冊とする．

7.2.4 広報委員会

広報委員会は以下の事業を予定している

- 女子中高生夏の学校2024への参加協力
 日時:2024年8月10日(土)～12日(月)
 場所: 国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町)
 内容: 実験・実習およびポスター・キャリア相談への参加予定
- WEBページ管理方法およびサーバ運用方法の検討

第8号議案 2024年度予算案

大墨礼子 理事

8.1 収入の部

項目	金額	摘要
前年度繰越し金	2,016,386	
会費収入	1,300,000	
雑収入	500	
合計	3,316,886	

8.2 支出の部

項 目	金額	摘 要
大会費用	100,000	
分科会費用（4分科会）	290,000	
数式処理発行費用	600,000	Vol.30 (No.2), Vol.31 (No.1)
広報費	41,000	レンタルサーバ費, 「女子中高生夏の学校」費用等
雑費用	100,000	通信費等
運営諸経費	420,000	税理士費用
事務局費	100,000	
租税公課	70,000	
次年度繰越し	1,595,886	
合 計	3,316,886	

暫定予算 参考のため 2024 年 4 月 24 日に臨時社員総会により議決された暫定予算は下記のようになっている。なお、暫定予算は、2024 年度本予算に含まれている。

項 目	金額	摘 要
税理士費用	260,000	
租税公課	70,000	
雑費用	60,000	
広報費	10,000	
合 計	400,000	

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

第9号議案 名誉会員推挙

濱田龍義 会長

一般社団法人日本数式処理学会理事会は、2024 年 3 月 12 日の定時理事会 (理事会 16025 号) において高橋正会員、白柳潔会員を「日本数式処理学会名誉会員及び名誉会長に関する規程」第9条第3、4、5項、横山和弘会員を第9条1、4、5項に基づき名誉会員として推薦することを同会員同意の下に議決した。

推薦理由

- 高橋正会員は、会長を含め長年役員を歴任されるとともに、幅広く数式処理の研究を行われ、数式処理の発展に貢献された。以上の功績により名誉会員に推薦する。

- 白柳潔会員は、副会長を含め長年役員を歴任されるとともに、安定化理論をはじめ数多くの数式処理の研究を行われ、数式処理の発展に貢献された。以上の功績により名誉会員に推薦する。
- 横山和弘会員は、役員を歴任されるとともに、グレブナー基底をはじめ数多くの数式処理の研究を行われ、数式処理の発展に貢献された。以上の功績により名誉会員に推薦する。

本議案に対し慎重審議の後、議長 濱田龍義は採決をおこなった。

投票の結果、賛成 23 票 である。賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した。

議長濱田龍義 は、全ての議事が終了した旨確認し会議の閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、出席役員、議事録作成者がこれに記名押印する。

2024年6月29日
一般社団法人日本数式処理学会
2024年度定時社員総会

議長・会長	濱田龍義	⑩
理事	関川浩	⑩
理事	濱田龍義	⑩
理事	藤村雅代	⑩
理事	大墨礼子	⑩
理事	鍋島克輔	⑩
理事	小原功任	⑩
監事	中川重和	⑩
監事	野呂正行	⑩
議事録作成者・理事	大墨礼子	⑩